

# はじまっています市民協働

市民と共に担うまちづくり  
手法検討委員会からの報告

「市民と共に担うまちづくり手法検討委員会」では、市民のまちづくり意識を分析した上で、市民・行政それぞれの役割を明確にし、その手法を研究しています。昨年9月5日に第1回委員会を開催して以来、これまで4回の話し合いを進めてきました。

その様子をさくらちゃんとブーナンおじいさん、ルリルリ※が話しています。どんな会議なのか聞いてみましょう。

※南丹市の花(さくら)・木(ぶな)・鳥(オオトリ)をイメージしたキャラクターです。



## 市民協働

②



さくらちゃん あら？この写真、みんな集まって何かの会議かしら？

ブーナンおじいさん

前に話した「市民と共に担うまちづくり手法検討委員会」じゃ



よ。南丹市の協働ルール作りについて話し合っているんじゃない。集まっている委員さんは、市ホームページ『市民協働』のコーナーでも紹介されているように、南丹市のいろんな分野で活躍されている市民の方や団体、専門的に研究を進める大学の教授、そして行政職員じゃよ。

ルリルリ ふむふむ。

どんなことを話し合っているルリ？



さくらちゃん きつと、私たちのまちでどんなふうに協働を進めたらいいか、どんなルールを決めたら地域がもっと元気になるかを話し合っているのね。

ブーナンおじいさん そのとおり。

先日も、ワークショップ形式で地域住民から見た南丹市の「ええところ」「あかところ」を話し合ったそうじゃ。行政職員で構成する市民協働推進プロジェクトメンバーも一緒に、いろんな意見を出し

合ったんじゃないよ。

さくらちゃん へえ。それで、どんな意見が出たのかしら？

ブーナンおじいさん 南丹市の「ええところ」は、自然が豊かで景観が

素晴らしいといった意見が多かったのお。ほかにも子どもやお年寄り元気、地域のパワーがあるといった意見や、学生が多く交流やボランティア活動が活発、人が親切で、近隣のつながりがあるという意見も。それに、情報基盤が整っていることや、施設が充実して、花火大会や工芸文化祭などのイベントが良いという意見も多かったよ。

ルリルリ ボクなら「食べ物がおい

しい」のが「ええところ」ルリ。

ブーナンおじいさん そうそう、食

べ物が安全でおいしいといった意見もあったよ。一方、「あかところ」は、山が荒廃してきていること、封建的、閉鎖的、無関心な人が多いという意見や、若者の意見が出しにくい、市域が広がって地域ごとに住民意識の格差や旧町意識が根深いといった意見も多かった。それから、医療格差、施設の利用ができていない、交通事情

が悪い、まとまりのない行事が多いという厳しい意見もあったよ。

さくらちゃん じゃ、その「ええところ」は市民協働でどんな伸ばして、「あかところ」をどう改善していくかが課題なのね。

ブーナンおじいさん そうじゃな。「行政」と「市民」の協働のルール作りのためには、大学や学生さんといかに協力するか、地域の資源である「人」をどのように育てるか、キーマンとして活躍する人をいかに増やすかなどの意見が出たんじゃない。これについては今後もしっかり研究を重ねることになっておるそうじゃ。

さくらちゃん こんなに地域に資源

がいっぱいあって、人が輝いている南丹市なんだから、みんなでいろんな意見を出し合えば、きつともっと魅力あるまちになるわね。

協働のまち

「南丹市」だ！

